広報

いまかね



生活にスポーツを

楽しい家庭づくりに

微風、花曇りの絶好なコンディションに恵まれた八月一日、今金中グラウンドで町民体育祭（写真）が行なわれました。

町内会単位の対抗戦は、家族そろっての声援になごやかなうちにも熱っぽいふんい気。

道民スポーツ桧山大会でも圧倒的な強さで優勝しただけに、町民の関心も深く〝スポーツ王国今金〟に恥じない熱心さでした。

スポーツは、明るく豊かで健康なからだと心をつくるのに大きく役だちます。

あなたも、どんなスポーツでもけっこうです。出来れば家族みんなでスポーツに親しみ、心にゆとりをもった楽しい生活にしてはいかがでしょうか。

'71年
8月号
No.158

日進共同模範牧場

サイロも一基完成
順調に進む建設工事

酪農経営の近代化と労働生産性の高度化を図ろう！と、昨年から建設が進められている『日進地区共同利用模範牧場』は、日本一大きいサイロ一基もその威容を表わし、畜舎の建設などの工事も順調です。



100頭分の牧草が入るサイロ

秋には百頭の優良基礎牛

本町の酪農は歴史が古く、稲作とともに農業の二大支柱となっています。

しかし、経営規模が比較的小さく生産性の低い零細農家が多いため、経営は不安定な状態にありました。

このため、町では昭和四十年に酪農近代化計画を樹立し、年次計画で経営基盤の拡大、整備を進めていましたが、乳価、飼料基盤、育成牛飼育の過重負担などの諸問題で伸び悩んでいます。

『日進模範牧場』は、乳用牛の品質改善、優良基礎牛の導入、生まれてすぐの牛の預託育成などにより、これらの脳みの抜本的解決を図ろうとするものです。

牧場の建設は、昨年度から三年計画で農地開発機械公団が進めており、四十七年度に完成すると、三百三十ヘクタールの広大な土地に二百十二ヘクタールの草地が造成され、高さ二十五㍍、三百八十五トンのサイロ四基のほか、畜舎四棟、看視舎、雑用水施設、事務所などが四億二千万円の事業費で完備されることになります。

ことしは、一億五千万円で工事が急ピッチで進められており、すでに〝マンモスサイロ〟が一基でき、畜舎一棟も近く完成します。

なお、ことしの秋には百頭の優良基礎牛が入りますが、完成すると常時五百頭以上の育成が可能となり、農家は育成の手間が省けるだけ搾乳牛をふやすことができ、収入も高まるものと期待されています。



お年寄りに朗報

老人医療費を無料に

町では、道と並行して来年一月から七十歳以上のお年寄りの医療費を無料化することにしました。

最近、医療技術の進歩などにより、老齢人口は著しくふえる傾向にあります。

しかし、家族制度の変化により、お年寄りをめぐる環境は必ずしも満足すべき状態ではありません。健康に恵まれず、孤独でさびしい余生をおくっているお年寄りも多く見られます。

町では、これまでに老人クラブの結成、ホームヘルパー、老人福祉相談員の設置などを通じて、少しでもお年寄りに楽しく元気に生活してもらうよう努めてきましたが、さらに、本人や家族の医療費の負担を軽くし、安心して病院にかかってもらうようにしたものです。

当分の間、対象は七十歳以上の老齢福祉年金受給者ですが、いずれは全員を対象にする考えです。

取り扱い方法その他詳しいことは、決まりしだい広報でお知らせします。

見事に育った“ビート”
休耕転作に最適

農家の意欲しだい

休耕田を利用して試験的に植えたビートの生育状況が予想以上によく、理想的な転換作物として期待されています。



河田光雄さんの水田あとビート畑

ことしの町内の水田休耕面積は六百九十一ヘクタールで、このうち三百九十ヘクタールが牧草、デントコーン、馬鈴薯、スイトコーンなどに転作されていますが、ビートも試験的に二ヘクタール作られました。

ところが、現在のところ植えられた三地区（神丘、種川、光台）とも予想以上の成績で、反当り四トン以上の収穫が見込まれています。

水田あとにビートを作付する利点として❶転作奨励金で種子、肥料代がまかなえる❷翌年、水稲作付する場合にも効果がある❸価格が保障されている❹冷害に強い❺高ウネや酸性矯正することにより増収が見込まれる❻比較的暇なときに作業できる❼乳牛がいる農家ではビートトップが飼料になる❽普通畑より二割程度増収になる―などがあり、欠点としては、連作が困難なのと手間がかかるので、主要は農家の意欲しだいです。

町内のビート畑は、終戦後から作られ、昭和三十五年には二百八十ヘクタールにまでふえましたがその後技術的な問題で反収が少なく価格も安かったことや、増田プームも手伝ってどんどん減り、現在は三十ヘクタールだけとなっています。

しかし、国内の砂糖需要は年々ふえており、それに輸入に七五％を依存している状況です。このため、生産過剰になる心配もなく、国や道でも安定作物として強く奨励しています。

ことし試験作付した河田光雄さん（神丘）も『休耕転作奨励補助金を受けてビート栽培することにより、米に換算して反当り十俵近い収入になる。出かせぎするよりも農業経営に大きなプラスだ』と話しています。

なお、ビートを栽培するには、前の年から床土の準備をすすめるなど計画性がたいせつです。いまから来年に備えて検討してみませんか。

栽培技術については、農業改良普及所に相談してください。

五十頭の牛馬が出場
第九回畜産共進会

第九回今金町産業共進会は、七月二十七日、町と農協が主催し、今金町営畜市場で開かれました。

出場したのは、町内五地区の予選を通った約五十頭の乳牛や馬。

日ごろ手入れをつづけていた飼い主たちが見守るなかで、外ぼう色つや、乳器、背線、スタイルなどの個体審査と比較審査により入賞を競いました。

また、八月に大野町で開かれる道南大会への出場者もかねているとあって念入りな採点が行なわれ、次のとおり優勝牛馬が決まりました。

◇乳牛の部

▽ホルスタイン種（七カ月―十八カ月）プライドカードアー（金原・菊地一善）▽ホルスタイン種（十八カ月以上未経産牛）プライドマドキャップ、ホワイトキャプテン（金原・菊地一善）▽ホルスタイン種（経産牛）ガバネスインカヘンドリカ（八束・阪井一美）

◇馬の部

初姫（八束・吉川優）



にぎわった共進会場

工業誘致促進委員会がスタート

農業と工業との均衡ある発展を目ざす『農村工業導入促進法』が制定されましたが、本町でも町ぐるみで導入促進を図るため『工業誘致促進委員会』を設けました。

この委員会は、導入計画の策定や企業と町民の調整などを審議し町長に意見を具申します。

▽委員　今野伝、大越藤夫、藤村徳蔵、渡辺二郎、松浦武雄、丸山九内、加藤五郎。

お役目ご苦労さん

今金小旧校舎

37年歴史終え解体



本町の中心校として約四千人の卒業生を送り出した今金小の旧校舎は、三十七年の長い風雪に耐えてその役目を終え、近代的な新校舎にバトンタッチ、父兄や子どもたちに惜しまれながら一部解体されました。

この校舎は『今金尋常高等小学校』と呼ばれていた昭和九年、市街地の発展で児童数が急激にふえ現在の消防本部のところにあった校舎に入りきれなくなったため建てられたもので、当時としては、モダン校舎の折り紙つきで、檜山管内一を誇っていました。

昭和二十二年四月から新学制実施により『今金小学校』と改称されてからは、校内配電施設、集合煙筒施設、水道施設、放送施設など次々と整備されてきました。

しかし、校舎そのものは老朽化が進んで危険なところもでてきたため、昭和四十四年開校七十周年を迎えたのを機会に新校舎を建設することになったものです。

これまでの伝統をうちかってきた旧校舎に感謝し、りっぱな新校舎でさらに飛躍させていきましょう。

おばあさんありがとう

蛯名さんがピアノを寄付



おばあさんとピアノを囲みみんなで校歌の合唱

七月二十三日に公民館で開かれた今金町交通安全協会総会の席上函館方面交通安全協会長から、次の運転者が模範運転者として表彰されました。

これらの方は、十年から十五年間無事故で運転してきました。町内全部の運転者が事故を起こさず交通事故のない明るい町づくりを進めましょう。

▽模範運転者

飯沼真佐夫（東町）
山口勇（南栄町）
山田一郎（種川）
高田昭蔵（大和町）村端一男（栄町）
笠原治雄（大和町）
広沢一二三（八幡町）

模範運転者に表彰状

事故ない明るい町に

『孫たち三人も世話になった学校に少しでも役だてば…』と、町内のおばあさんから今金小学校に黒塗りのりっぱなピアノと電気オルガンが届けられました。

この贈り主は、東町に住む蛯名せつさん（七十三歳）で、戦時中から終戦後にかけて卵を売ったり農作業の手伝いをしたりした手間賃などをコツコツとため、にいさんに預けておいたのが利子を含めて三十万円にもなっていたのを寄付したものです。

おばあさんは『あてにしなかったお金だし、新しい校舎で子どもたちに伸び伸びと勉強してもらいたくて』と、控えめに話しています。

七月十七日、新校舎の音楽室で行なわれた贈呈式には、おばあさんがみずから出席。町長と校長先生がお礼を述べたあと『みんなで仲よく使ってよい子になってください』とおばあさんが書いたあいさつを校長先生が読み上げました。

子どもたちは、おばあさんにお礼しようーと、新しいピアノの伴奏で元気いっぱいに校歌を合唱、おばあさんも感慨深げでした。

納期までに完納しよう

町道民税 〈2期〉
国民健康保険税 〈2期〉
個人事業税 〈1期〉

8月31日まで

圧到的な強さで優勝

道民スポーツ桧山大会

第三回道民スポーツ桧山大会は第二十四回全桧山青年体育大会を兼ねて七月十八日に今金、北桧山、瀬棚の三町で行なわれました。

管内十町から約八百人が参加し熱戦が繰り広げられましたが、約二百人の今金町選手団は各競技にむらなく得点を重ね、二位の上ノ国町を大きく引き離して、第一回大会に続き二回目の総合優勝を果たしました。

特に、今金を会場に行なわれた剣道、柔道、すもうは、地元の強みを発揮していずれも初優勝、また、ことしから種目に加えられた"ママさんバレー"の活躍などが目だちました。



初優勝したすもうチーム

おもな成績は次のとおりです。

◇陸上　総合二位
（青年男子）▽五千㍍　①吉本富夫▽走り高とび　①前野和義▽三段とび　①福地邦夫
（一般女子）▽砲丸投げ　①狩野素子

◇バレーボール　総合一位
（女子）一位（ママさん）一位

◇卓球　総合三位
（一般）一位

◇柔道　総合一位
（一般）二位（青年）
（個人）▽青年軽量　①阪井清隆▽青年重量　①須藤光政

◇剣道　総合一位
（一般）一位（青年）四位

◇すもう総合一位
（一般）四位（青年）一位

◇総合成績
①今金町②上ノ国町③厚沢部町④北桧山町⑤江差町

お知らせ



■"ゴミ"は定められた日に

ゴミ収集地区のみなさん、まだ日をまちがっている人や当日の午後から出している人がいます。

"ゴミ"は、定められた日時に出さないと集積場所になっている付近の人がたいへん迷惑します。

今一度、自分の所の日時を確認して、きちんと出すよう心がけてください。

■内部障害者の入所生を募集

道立内部障害者更生指導所ではことし2回目の入所生を募集しています。

次に該当する人は、役場町民課へお申し込みください。

▷募集対象者　結該回復者と心臓機能障害者で、年齢は15歳以上40歳位まで
▷募集人員　35人
▷募集科目　孔版タイプ、経理事務、ラジオテレビ、洋裁
▷訓練期間　46年10月から47年9月まで

■あなたも警察官に

道警では、北海道警察官の採用試験を次により実施します。

▷採用予定人員　約200人
▷受験資格　昭和19年4月2日から昭和29年4月1日までに生まれた男子
▷試験方法　第1次は筆記試験と身体検査　第2次は口頭試験と体力検査
▷試験期日　10月10日(日)
▷試験場所　函館市、長万部町
▷受験手続　受験申込用紙を北桧山警察署に請求して、10月2日までに申し込んでください。

（北桧山警察署）

盛りだくさんの催し

第一回 産業まつり

8月14日～16日
主催／今金町、今金町商工会
今金町農業協同組合



◇14日　音楽パレード
マラソン大会
狩場太鼓
ファッションショー

◇15日　野外演芸会
愛犬展覧会
モデル撮影会
びっくり市

◇16日　千人おどり
仮装カーパレード
狩場太鼓

◇14日～16日
歩行者天国
写真展
物産展
銘石展

より正しい知識を

戸籍制度が百周年

ことしは、わが国に全国統一の近代的な戸籍制度ができてから、ちょうど百年になります。

戸籍は、わたしたち日本国民の登録であり、人の氏名、生年月日夫婦関係、親子関係などを証明するたいせつなものです。



正しい戸籍は、あなたを守ってくれます。戸籍について正しい知識を身につけましょう。

□あなたの家族関係は戸籍で証明されます。

相続の場合や各種の年金の受給をうける場合などには、家族関係を証明する資料として戸籍が重要な役割を果たしています。

また、入学、就職、各種の取引などをする場合にも、戸籍が利用されることが少なくありません。

□戸籍のしくみ

戸籍は、一組の夫婦とその子とを単位として作られます。

子が生まれると、その子は父母の戸籍に入ります。そして、その子が成長して結婚すると、父母の戸籍から出て新しく夫婦の戸籍が作られるのです。

□届出は正確に

戸籍は、みなさんの届出に基づいて記載されます。

なにかあったときに『サア困った』ということのないよう。届出は正しくすみやかにしましょう。

□結婚や養子縁組をするには届出が必要です。

どんなに盛大な結婚式をあげても、結婚の届出をしなければ法律のうえでは夫婦として認められません。

挙式の日に結婚の届出をしましょう。養子縁組も同じです。

□戸籍のご相談は

戸籍のことでわからないことがあれば、役場町民課でおたずねください。



今金婦人会が美利河温泉へ遠足

強い日ざしが照りつけた七月二十五日、今金婦人会員四十六人がバスで美利河温泉へ。夏の一日、ジンギスカンナベをつついだり（写真）して楽しんだが、初めての人も多く『こんどは家族連れできたい』と好評です。

住民の動態

前月に比べて

人口	11,155	(−13)
男	5,419	(− 6)
女	5,736	(− 7)
世帯	2,841	(− 3)

（6月30日 現在の住民基本台帳人口）

☒たんじょうおめでとう

広沢 和治（次男 長男）種 川
境田 貴光（広美 長男）昭和町
螺良 恭之（孝司 長男）旭 町
沢 洋美（卓 長女）八幡町
佐々木昌志（鶴治 長男）八 束
佐藤 伸一（靖男 二男）緑 町
加藤千亜紀（三明 長女）種 川
鎌田 貴（勝夫 二男）稲 穂
笹森 修司（寅男 三男）末広町
五十嵐由美（征男 長女）末広町
阿部 真樹（春樹 長男）豊 田

☒いつまでもしあわせに

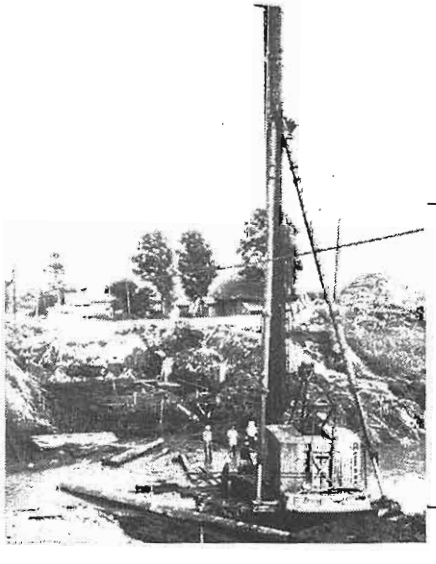
笹森鉄吉＝小山田智恵子 美利河

◆おくやみもうしあげます

浜野 一雄 三十五歳 緑 町
西田元太郎 八十二歳 末広町
片田ユキノ 四十九歳 末広町
北井重太郎 六十六歳 高美町

（六月分）

＝広報＝トピックス



建設工事まつ盛り

町内では、ことしも多くの建設工事が計画されましたが、そのほとんどの入札も終り、早期完成を目ざして工事はまっ盛り。

鈴金橋も二年計画で掛け替えられますが、大型機械でのくい打ち（写真）は壮観です。

発行所・北海道今金町役場 編集・企画室 印刷・長門出版社 発行・46・8・10